

中瀬古和生誕 110 年 メモリアルコンサート

Resurrection

復活「われは主を見たり」

2019 年 3 月 3 日 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

栄光館 ファウラーチャペル (今出川キャンパス)

入場料：2,000 円 (未就学児のご入場はご遠慮ください)

主催：同志社女子大学音楽学会《頌啓会》

共催：同志社女子大学学芸学部音楽学科

お問い合わせ：同志社女子大学音楽学会《頌啓会》 0774-65-8512



中瀬古 和 (なかせこかず) 1908年-1973年

同志社女学校教頭・中瀬古六郎の次女として京都に生まれる。1930年、米国ワシントン大学音楽学部ピアノ専攻卒業 (BM)。1931年、米国イーストマン音楽学校大学院音楽学専攻終了 (MM)。1932-1933年、ベルリン国立高等音楽院で作曲をヒンデミットに師事。1942年、NHK・毎日新聞社主催音楽コンクール作曲部門で第3位に入賞し、本格的に作曲活動を開始。1946年より同志社女子専門学校講師を務め、1949年より同志社女子大学教授。1950年、レオニード・クロイツァー「或る音楽家の美的告白」の訳書 (大化書房) を出版。1951年、毎日音楽特別賞受賞。1954年、米国エール大学で、クレーンビュールに師事して多機能性理論とストラヴィンスキーの作曲技法を研究。1956年、エール大学よりMMを授与される。1956年-72年、NHK・毎日新聞主催音楽コンクール・ピアノ部門審査員を務める。

日本でも数少ないヒンデミットの弟子として、その存命中は広く知られた作曲家であった中瀬古和。その作風は、深い信仰心に根ざしたもので、特に、日本語の持つ抑揚をどのようにメロディーに表すかをテーマの一つとしていました。

また、教育者としても根気よくあきらめることなく学生に接し、ときには厳しく教えられました。その奥底には学生に対する愛情が満ちあふれていました。その人柄は学生からも慕われ、同僚の教職員からも敬愛されていました。

この度、女子大学史料センターから直筆の楽譜が数多く発見されました。ぜひ、音にして先生の偉業を多くの方に知っていただきたいとこのコンサートとなりました。先生の生誕の地であり、終生の仕事場であった栄光館で、その演奏会を行うことを意義深く思っています。



<管弦楽曲> 行進曲「讃歌」 けいはんなフィルハーモニー管弦楽団
Prelude I・II「幽明」 指揮：関谷弘志

<器楽曲・声楽曲> 過ぎ越の祭りの前に ソプラノ：夏目久子 ピアノ：都築彩子
Suite II ピアノ：河江 優
大木惇夫詩集「日本の花」に寄する ピアノ：近藤有香 メゾソプラノ：安本佳苗・梶浦知甫
Verses from Isaiah (イザヤの3つの予言) ソプラノ：松下悦子 チェロ：生田奉子
String Quartet II ヴァイオリン：中前晴美・山下はる香 ヴィオラ：片山晶子 チェロ：柳瀬史佳
視よ冬すでに過ぎ・北風よ起これ ソプラノ：伊藤直美 ピアノ：河合久美
大澤忍歌集「遠翔」より ソプラノ：大垣英美 ピアノ：前田佳世子
Movements for Solo Violin ヴァイオリン：中世古千賀

<合唱曲> われ黎明をよびさまさん メゾソプラノ：中原由美子
復活 Resurrection バリトン：井原秀人・井上敏典
中瀬古和メモリアルコーラス
パイプオルガン：高橋聖子
指揮：貞方千恵子

<チケット取り扱い>
《頌啓会》事務局 0774-65-8512 (月・水・金 10:00~16:00)
HP 申し込みフォームから <http://www.shokeikai.jp>

<会場案内> 駐車場はありません
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入
京都市営地下鉄烏丸線 今出川下車 東へ徒歩8分
京阪本線 出町柳下車 西へ徒歩10分
京都市バス 59・201・203系統 同志社前下車すぐ



—— 出演者への花束・プレゼントなどの受け付けを設けておりません あらかじめご了承ください ——